

高校公民プリント（過去問類似）  
公共、倫理（2025年～の共通テスト本試験）  
No.1

名前

得点

/10

問1 唐の時代に陸路でインドへ渡り、無著や世親によって大成された、万物はただ心の働きが創り出したものにすぎないとする仏教思想の経典を中国へと持ち帰り、その漢訳と普及に努めた僧侶は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 慧遠 2. 法顕 3. 玄奘 4. 義浄

問2 世俗的な美醜や善悪、あるいは生と死といった価値基準はすべて人間が勝手に設けた相対的なものにすぎないとし、そうした人為的な区別を否定して万物を等しいものとみなす思想を説いた、中国の戦国時代の思想家は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 荀子 2. 莊子 3. 老子 4. 孟子

問3 アメリカの生態学者によって提唱された、人間を自然の征服者ではなく、土壌や水、動植物からなる生態系という共同体の一員と位置づけ、それら全体を道徳的配慮の対象とする環境倫理思想を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 環境正義 2. 生命倫理 3. 土地倫理 4. 地球倫理

問4 江戸時代、赤穂浪士による討ち入り（赤穂事件）の処分をめぐり、浪士たちの行動を「私的な義」として評価しつつも、幕府の「公的な法」を維持するために彼らを処罰（切腹）すべきであると主張し、政治における法の優位性を説いた儒学者は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 山鹿素行 2. 荻生徂徠 3. 新井白石 4. 伊藤仁斎

問5 人間の本性は悪であり、放っておけば自己の利益や欲望を求めて争うことになるかと捉え、後天的な努力によって聖人が定めた社会規範を身につけるべきだと主張した、戦国時代の儒家の思想家は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 孟子 2. 莊子 3. 墨子 4. 荀子

問6 現代アートにおいて、従来の彫刻や絵画のように作家自らが手を加えて美的な調和を作り出すのではなく、既製品をそのまま、あるいはわずかな加工のみで展示空間に置くことで、視覚的な美しさがなくとも鑑賞者の思考を刺激し、心を動かすことができるとした芸術上の概念を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ボディ・アート 2. レディ・メイド 3. ポップ・アート 4. ランド・アート

問7 個人の能力や境遇、生まれ持った特徴などの違いを考慮せず、すべての人をルール上等しく、同じように扱うことを目指す平等のあり方を何というか。法の下での平等や、スタートラインを揃える「機会の平等」を確保する際に重視される概念である。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 形式的平等 2. 結果の平等 3. 実質的平等 4. 機会の平等

問8 16世紀フランスの思想家で、ユグノー戦争という悲惨な宗教対立を背景に、独断や不寛容を批判した人物がいる。彼は著書『随想録（エッセー）』において、自己の無知を自覚し、人間の理性の限界を謙虚に見つめ直す懐疑主義の立場を提示した。この人物は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. カンパネッラ 2. セルバンテス 3. モンテーニュ 4. マキャヴェリ

問9 1995年に発生した阪神・淡路大震災では、全国から多くの市民が自主的に被災地へ赴き、救護や復興の支援活動を行った。この出来事を契機に、市民による自主的な社会貢献活動への認知と参加が日本社会で飛躍的に進んだことから、この年は一般に何と呼ばれるか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ボランティア活動 2. ボランティア団体 3. ボランティア休暇 4. ボランティア元年

問10 大正から昭和期にかけて活躍した日本の哲学者は、人間の存在が歴史的であると同時に空間的（風土的）なものであると捉えた。彼は、自然環境が人間の精神構造に与える影響を分析し、日本を含む東アジアの自然環境を、恵み豊かでありながら時に暴威を振るうものとして特徴づけ、そこに生きる人々の精神性を「受容的・忍従的」とであると論じた。この思想を提唱した人物は誰か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 内村鑑三 2. 和辻哲郎 3. 九鬼周造 4. 吉野作造

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 3 玄奘	唐代の僧である彼は、仏教の真理を求めて陸路でインド（ヴァルダナ朝）のナーランダール僧院などに留学した。帰国後、無著や世親が大成した唯識思想の経典をはじめとする膨大な仏典を漢訳し、中国における法相宗の開祖となった。彼の旅行記は『大唐西域記』として知られている。
問2	答え 2 莊子	世俗的な価値の相対性を説き、人為的な区別を捨てて自然のありのままに従う精神的自由の境地を重視した思想家は莊子である。彼は万物を等しいものとみなす「万物斉同」を主張し、老子とともに道家の代表的な思想家となった。
問3	答え 3 土地倫理	アルド・レオポルドが提唱したこの思想は、人間を生物共同体の一メンバーとして位置づけ、土地（土壌、水、植物、動物）全体に対する道徳的責任を説くものである。経済的価値だけでなく、生態系全体の健全性や美、安定性を維持することを重視する。
問4	答え 2 荻生徂徠	赤穂浪士の仇討ち（赤穂事件）の処分をめぐることは、当時の知識人の中で激しい論争が起こった。この人物は、浪士たちの忠義を「私的な義」として認めつつも、幕府の許可なく徒党を組んで騒動を起こしたことは「公的な法」に違反するとし、天下の法を維持するために切腹に処すべきだと主張した。これは、道徳（義）よりも政治や法（制度）を重視する彼の思想を象徴する出来事である。
問5	答え 4 荀子	人間の本性は悪であるとする性悪説を唱え、本能的な欲望に流される人間を正すために、後天的な努力（偽）によって社会規範を身につけるべきだと主張した。この思想は、のちに法による統治を重視した韓非などの法家思想にも大きな影響を与えた。
問6	答え 2 レディ・メイド	マルセル・デュシャンが提示したこの概念は、芸術作品が作家の卓越した技術や美的な外見に依存するものであるという伝統的な見方を否定した。既製品を本来の文脈から切り離して展示することで、鑑賞者に新たな意味や問いを投げかけ、思考を揺さぶる現代アートの重要な手法となった。
問7	答え 1 形式的平等	個人の個性や属性、境遇などの違いを考慮せず、すべての人をルール上同じように扱う平等のあり方を形式的平等という。これは、法の下での平等や、すべての人に等しいスタートラインを保障する「機会の平等」の基礎となる考え方である。これに対し、社会的・経済的な格差を是正するために、個人の状況に応じた配慮を行う平等のあり方は「実質的平等」と呼ばれる。
問8	答え 3 モンテーニュ	ユグノー戦争の混乱期に生きたフランスの思想家モンテーニュは、自らの独断を絶対視する不寛容が悲惨な争いの原因であると考えた。彼は『随想録（エッセー）』の中で、人間の理性の不完全さを自覚し、謙虚に真理を探究し続ける姿勢を説いた。
問9	答え 4 ボランティア元年	1995年の阪神・淡路大震災において、延べ100万人を超える市民が自主的に被災地支援に駆けつけた。この出来事は、日本において市民による自主的な社会貢献活動が広く定着する契機となり、同年に特定非営利活動（NPO）への関心が高まるなど、市民社会の形成に大きな影響を与えた。このことから、1995年は「ボランティア元年」と称されている。
問10	答え 2 和辻哲郎	人間の存在を「間柄的存在」として捉える倫理学を展開したこの人物は、著書『風土』において、人間の自己了解のあり方が自然環境（風土）と密接に結びついていると主張した。彼は世界の風土を「モンスーン型」「牧場型」「砂漠型」の3つに大別し、日本が属するモンスーン型の特徴として、台風や洪水などの自然の暴威に対する「受容的・忍従的」な態度を挙げた。